_	1			1					
科目ナンバー	,			科目名	英語科教育法I				
教員名	小林 恵美			開講年度学期	202	2020年度 前期~		単位数	4
概要	高等学校学習指導要領の理解を通して、教員に求められる指導力について考え、英語で的確に理解した り適切に伝え合ったりするコミュニケーション能力を培うような、授業実践力をつけることを目標とす る。授業では。講義に加え、模擬授業、内省、意見交換、議論する機会も設ける。								
本講義では、指導要領を概観し中学校や高等学校における英語教育の位置づけを理解し、言語教育の理 論に基づいた実践を行い、またその実践から言語指導や言語学習への理解を深めていく。									
「共愛12の力」との対応									
識見		自律する力		コミュニケーションカ		J	問題に対応する力		_
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		0	分析し、	思考する力	0
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		0	構想し、	実行するカ	0
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築す	る力	0	実践的ス	<b>パキル</b>	0
フィードバック方 法	者による模	な活動を通した内容 擬授業も数回実施し	,、授業後に			•		による内省の	他、受講
アクティブラーニン		サービス	ラーニング			課題解決型	学修		
受講条件 前提 科目	受講開始ま	でにTOEICの履修	条件を満たし	ていること。					
アセスメントポリシー及び評価方法	(2)学習指 (3)模擬授 (4)中間テ (5)期末レ	(4)中間テスト(20%) (5)期末レポート(20%)							
教材	文部科学省(2010)『高等学校学習指導要領解説:外国語編、英語編』開隆堂 東京書籍『Power on Communication English !』 本多敏幸(2011)『若手英語教師のためのよい授業をつくる30章』教育出版 太田洋(2012)『英語の授業が変わる50のポイント』光村図書出版								
Richards, J. C., & Farrell, T. S. C. (2011). Practice teaching: A reflective approach. Cambridge: Cambridge University Press. Walsh, S. (2014). Classroom interaction for language teachers. Alexandria, VA: TESOL Press. 卯城祐司(2014)『英語で教える英文法:場面で導入、活動で理解』研究社金谷憲(編)(2012)『大修館英語授業ハンドブック高校編』大修館書店教育実習を考える会(編)(2005)『学習指導案作成教本:英語科』蒼岡書林静哲人(2002)『英語テスト作成の達人マニュアル』大修館書店長谷川信子(編)(2015)『日本の英語教育の今、そして、これから』開拓社根岸雅史(2007)『コミュニカティブ・テスティングへの挑戦』三省堂村野井仁(2006)『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』大修館書店米山朝二・杉山敏・多田茂(2002)『英語科教育実習ハンドブック』大修館書店									
内容・スケジュール									
1週目									
授業学修内容	高等学校の外国語(英語)の学習指導要領、「外国語」の目標の理解 ? 実践的コミュニケーション能力について ? 小・中・高等学校の連携								
授業外学修内 內省文作成及		<u></u> - び予習			時間	数 2			
2週目									
授至字修内容	高等学校の外国語(英語)の教科書 授業学修内容 ? 年間指導計画の立て方・授業の構成について								
授業外学修内 容 内省文作成及					時間	数 2			
3週目							•		

授業学修内容	学習指導案の作り方						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
4週目		I					
授業学修内容	第二言語習得理論とその活用について、授業で用いる英語						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
5週目							
授業学修内容	文法の指導						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
6週目							
授業学修内容	模擬授業(文法導入、form, meaning, use)		_				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
7週目							
授業学修内容	模擬授業(導入で使用する例文)	T	r				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
8週目	<b>,</b>						
授業学修内容	教科書本文(ストーリー)の指導	7	7				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
9週目							
授業学修内容	Classroom interaction について ? IRF パターンの特徴について知り、理解する ? Display question と Referential question について知り、その特徴や役割について理解する						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
10週目							
授業学修内容	ドリル活動、音読指導						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
11週目							
授業学修内容	ワークシートの作り方						
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
12週目							
授業学修内容	ペアワークやグループワークのさせ方	ı	I				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
13週目	The last of the state of the st						
授業学修内容	模擬授業(授業観察)	ı	I				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
14週目	T .						
授業学修内容	模擬授業(板書計画)	ı	Γ				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2				
15週目							
授業学修内容	模擬授業(Action zone)	1	Г				
授業外学修内							

容	内省文作成及び予習	時間数	2		
16週目					
授業学修内容	模擬授業振り返り				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
17週目					
授業学修内容	語彙指導、視聴覚情報の与え方				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
18週目		-			
授業学修内容	観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括及び言語(オーマンス評価等を含む)について	能力の測定と	評価 (パフ		
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
19週目	•	•			
授業学修内容	実技テストの実施方法、コミュニカティブ・テスティングについて				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
20週目		<u> </u>			
授業学修内容	模擬授業(オーラル・イントロダクション)				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
21週目	•	•			
授業学修内容	模擬授業(Teacher talk)				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
22週目	•				
授業学修内容	授業改善のポイント				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
23週目					
授業学修内容	ティーム・ティーチング				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
24週目					
授業学修内容	よい授業をつくるための基本	1	1		
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
25週目					
授業学修内容	授業観察(視聴覚資料を用いる) ? 授業のねらいや授業構成について考える ? インタラクションを書き出してその役割について考える 中間テスト				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
26週目					
授業学修内容	模擬授業(Action zone)				
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2		
27週目					
授業学修内容	模擬授業(Display question and Referential question)				
授業外学修内					

容	内省文作成及び予習	時間数	2			
28週目						
授業学修内容	模擬授業(Initiation Response Feedback, IRF)					
授業外学修内 容	内省文作成及び予習	時間数	2			
29週目						
授業学修内容	模擬授業(ティーム・ティーチング)					
授業外学修内 容	内省文作成及び予習		2			
30週目						
授業学修内容	授業力を向上させるために					
授業外学修内 容	内省文作成		2			
上記の授業外学	上記の授業外学修時間の合計 60					
その他に必要な自習時間 120			120			

Number		TCP-3-010-ky		Teaching Methodology (English) I		
Name		小林 恵美(Kobayashi Emi)	Year and S emester	Full-yaer for 202 0	Credits	4
Course utline	0	The aim of this course is to introduce students to the essentials of teaching English in Japanese senior high schools as well as to the basics of language teaching and classroom management. Also, we will highlight reasons and principles behind selecting and applying various techniques and procedures, drawing on relevant theories of second language acquisition as well as on learning in general.				